

安全報告書



2 0 1 7 年 度 版

南阿蘇鉄道株式会社

1. 利用者はじめ地域の皆様へ

いつも南阿蘇鉄道をご利用頂きまして、誠にありがとうございます。

また、昨年発生しました熊本地震に対し全国の皆さまからお見舞いや励まし、多大なるご支援を賜りましたこと深く感謝申し上げます。

2016年度は4月16日未明に発生した熊本地震の被害により、当社発足以来、最大の危機的事態に直面しました。鉄道施設への甚大な被害により事業運営は停止しました。しかしながら「安全・安定輸送の確保」を第一に「全線復旧を目標として可能な限り努力していく」ことで方針を定め、鉄道再生に向けて全力で活動を展開してまいりました。

梅雨明けの状況を見据えて7月31日に高森～中松間での部分運転を再開しました。この間、地元住民をはじめ全国各地からのご支援あつての出発でした。

本報告書は、2016年度に当社が行ってきた安全性向上に向けた取り組みなど広くご理解いただくために公表するものです。

南阿蘇鉄道株式会社
代表取締役社長 草村 大成

2. 輸送の安全確保に関する基本的な考え方

(1) 安全基本方針

当社では、安全輸送の確保を第一とし、基本的な方針は次のように掲げ、社長以下、全社員に周知徹底を図っています。

- ① 一致協力して輸送の安全確保に努めます。
- ② 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- ③ 常に輸送の安全に関する状況の理解と確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取扱いをします。
- ④ 事故・災害が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとります。
- ⑤ 情報は漏れなく敏速、正確に伝え、透明性を確保します。
- ⑥ 常に問題意識を持ち、必要な変革に継続的かつ果敢に挑戦します。

(2) 安全確保のための重点目標

区 分	項 目	内 容
定量的な目標	列車事故（衝突・脱線・火災）	有責事故を発生させない。
	乗客の死傷事故	乗客の死傷事故を発生させない。
	踏切障害事故	踏切故障に伴う事故を発生させない。
定性的な目標	基本動作の確実な実施と事故防止意欲の向上	

(3) 目標に対する実績

年 度	2012	2013	2014	2015	2016
列車事故（衝突・脱線・火災）	0	0	0	1	0
乗客の死傷事故	0	0	0	0	0
踏切障害事故	0	0	0	0	0

3. 輸送の安全の実態

(1) 鉄道運転事故

2016年度の鉄道運転事故の発生はありませんでした。過去5年間の鉄道運転事故の発生件数と死傷者は次のとおりです。

年 度	2012	2013	2014	2015	2016
事 故 件 数	0	0	0	1	0
死 傷 者	0	0	0	0	0
うち死亡者	0	0	0	0	0

(2) 災害（地震・暴風雨、豪雪などによる鉄道施設への被害）

2016年4月16日に発生した熊本地震により4月15日より7月30日までの107日間全線において運休しました。7月31日から高森～中松駅間において部分運転再開。主な被害で次の通りです。

区間	構造物名称	主な被害概要
立野駅～長陽駅間	立野橋梁	ブロック積み橋脚ひび割れ等
	犀角山トンネル	覆工剥落・トンネルの変形・移動等
	第一白川橋梁	上部工全体変形等
	戸下トンネル	覆工剥落・ひび割れ等
	その他	軌道流出等
長陽駅～中松駅間	盛土・護岸他	盛土変状・護岸流出・落石・軌道変位等
中松駅～高森駅間	軌道等	軌道変位等

(3) 輸送障害（30分以上の遅延や運休）

2016年度は台風と大雨の影響で列車が運休となり、お客様には大変ご迷惑をおかけしました。内容は次のとおりです。

- ① 4月1日、第20列車見晴台駅を定刻出発直後、進行方向に自動車が進入しているのを発見、非常ブレーキで停車した、（自動車から50m手前で停止）乗客、運転士に死傷者はなかった。自動車の撤去、安全確認のため第20列車～第22列車までの3本を運休とした。

- ② 4月14日、第26列車は長陽駅定刻出発後、立野駅到着前、21時26分頃震度5弱の地震が発生、乗客、運転士に死傷者はいなかった。この影響により第27列車、1本が運休となった、線路及び施設の点検を実施、異常はなかった。
- ③ 4月15日、14日に発生した地震の余震による災害危険性が解除するまで第2列車～第8017列車まで運休とした、施設の安全確認を行い、第16列車より運転を再開したが、余震の災害危険性が予想された為、第20列車～第27列車まで運休とした。このことにより24本が運休となった。
- ④ 4月16日、1時25分頃、震度6強の地震が発生、線路及び施設に被害が予想されたため、第2列車（始発列車）より運転を中止、点検を実施した結果、線路及び施設に多数の被害を受けていることを確認した、運転再開の目途が立たない為、以降の列車運転を中止とした。※7月31日より中松～高森間で部分運転再開。① 台風15号の接近に伴う風雨の影響により、6時12分発の第4列車（始発列車）より運休を行った。このことにより20本が運休となった。

（4）インシデント（事故の兆候）

2016年度の九州運輸局へのインシデント報告はありませんでした。

（5）行政指導等

2016年度における行政指導はありませんでした。

4. 輸送の安全確保のための取組み

（1）安全のための施策

安全の維持向上のために鉄道施設や車両の保守点検整備を計画的に実施しています。2016年度においては、施設面では熊本地震による高森～中松駅間の軌道修正、車両面では、MT3010号車の全般検査、及びMT3001号車の全般検査を実施しました。

（2）緊急時対応訓練

- ① 緊急時および異常時の対応を訓練しています。

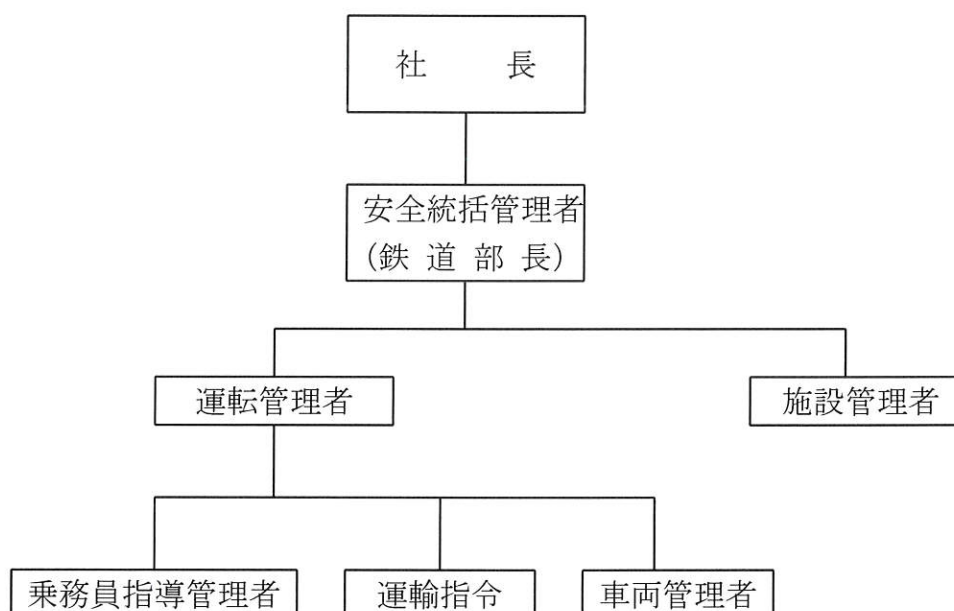
「常用閉そく方式が施行できない場合の閉そく方式変更」について

- ② 定期の訓練により、全社員に危機管理意識の高揚を行っています。

5. 当社の安全管理体制

(1) 安全管理組織

当社では社長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者を明確にした上で安全確保のため役割を担っております。



(2) 安全管理者の役割

役 職	役 割
社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
運 転 管 理 者	運転に関する事項を統括する。
施 設 管 理 者	安全統括管理者指揮の下、施設に関する事項を統括する。
車 両 管 理 者	安全統括管理者指揮の下、車両に関する事項を統括する。
乗務員指導管理者	安全統括管理者指揮の下、運転士の資質保持に関する事項を管理する。

6. ご連絡先

安全報告書へのご感想、当社への安全への取組みに対するご意見をお寄せ下さい。

南阿蘇鉄道株式会社	
TEL 0967-62-0058	FAX 0967-62-0433
E-mail	nantetsu@athena.ocn.ne.jp
■ 月～金 9:00～17:00(祝休日を除く)	